

## 福祉サービス第三者評価結果

## ①第三者評価機関名

株式会社 地域計画連合

## ②事業者情報

|        |                              |           |              |
|--------|------------------------------|-----------|--------------|
| 名称：    | 桜井保育所                        | 種別：       | 保育所          |
| 代表者氏名： | 染谷 康子                        | 定員(利用人数)： | 90 名         |
| 所在地：   | 〒 343-0002<br>埼玉県越谷市平方1349番地 | TEL       | 048-974-0449 |

## ③評価実施期間

令和 6 年 7 月 11 日(契約日)～令和 7 年 2 月 26 日(評価結果確定日)

## ④総評

## ◇特に評価の高い点

○園全体で野菜作りに取り組み、給食調理員とも連携し食育の取り組みを大切にしている。

2歳児も含め、園全体で季節に応じた野菜を植え、水やりなどの世話や収穫を楽しみ、できた野菜は給食室で調理してもらったり、保育室で調理して味わうなどの取り組みをしている。また、調理員とも連携をして、給食に使う野菜の皮むきを子どもたちが手伝い、食べる楽しみにつながっている。給食室が全面窓で子どもたちの目線でもよく見ることができ、調理している姿や香りを感じることができる環境になっていることで、給食が身近なものに感じられている。調理員もご飯を食缶に入れて温かく提供する等、おいしい給食提供に努め、園全体で食に対する意識を高める取り組みを行っている。

○保護者に保育の計画やたよりなどで情報を提供し子どもの育ちを共有できるようにしている。

保育の柱である全体的な計画や年間の行事計画を玄関に掲示するとともに、保育所の安全点検や子どもへの安全指導などの保育安全計画を作成し、玄関に置きいつでも確認できるようにしている。年間や月の指導計画に基づいた日々の保育の活動計画はクラスに掲示したり、保育所だより、クラスだより、給食だより、保健だよりを配信して保育の取り組みや情報を保護者がいつでも見ることができるようにしている。また、所内には写真を多く取り入れ保育活動の様子がわかるようにした食育だよりやクラスだよりを掲示して、子どもの活動内容や育ちを確認できるように工夫している。保護者からは少人数でアットホームの良さや職員が全員の子どものことを把握してくれる、子どもの思いを大切に話を聞いて寄り添ってくれる、子どもの発達と一緒に考えてくれるなどの評価がある。

○危機管理意識を職員全員が持って、安心安全への様々な取り組みが行われ配慮がなされている。

築年数が古い保育園であるが清掃が行き届き維持管理がなされている。室内には大きなストーブが撤去されずにあるが、危なくないように柵で囲われており子どもの生活や遊びのスペースが十分確保されている。廊下からトイレに入る際、段差があり危ない状況であったが下にマットを敷くなど創意工夫が見られている。

けいれん発作時や誤食などの事案が発生した時、緊急時分担カード(カードには分担毎に行う仕事内容が順に記載)を配り、慌てないで冷静にカードに沿って対応が行われるように配慮されている。子どもの安心安全を第一に考え職員間で共通認識のもと日常保育の向上に努めている。

◇特にコメントを要する点

○子どもの主体性を発揮できるような保育環境づくりに期待したい。

園全体で安全面への配慮し、各保育室には年齢に応じた遊具も用意されている。しかし、2、3歳児の保育室の遊具は種類ごとかごに入れられ、部屋の一角に重ねて置かれている状況となっているため、イメージやつもり遊びが盛んになる2、3歳児にとって、そこから子どもが遊びたい遊具を自ら手にすることの難しさがあると思われる。そこで、子どもたちが主体的に自分の遊びができるような遊具の種類や配置などの検討とともに、4、5歳児の保育室には、年齢に応じた遊具が部屋の一角に置かれているので、さらに自分から手にして遊びを工夫したり、子ども同士で協力して遊ぶ遊具の種類など、園全体の取り組みとして、子どもの主体的な取り組みを保障するための保育環境づくりに期待したい。

○保育所を取り巻く地域環境を把握し、保育所を子育て支援の拠点として地域交流の活発化を期待したい。

駅から遠いこともあり、遊ぼう会、園庭開放などの地域交流の取り組みを行い、「市のホームページや子育てネットを活用し広く周知しているがなかなか参加増に結びつかないでいる。遊ぼう会や園庭開放のお知らせを、自治会に依頼し回覧して頂く、近隣の公共施設などの掲示板を利用する、近隣の公園に出掛け「出前保育」を企画するなどの取り組みや、遊ぼう会や園庭開放に親子が参加しやすい時間帯の検討とともに、参加者にアンケートを実施し傾向を把握し対策を講じるなど、職員全員で検討する機会をもつことを期待したい。

○保育所の事業計画や職員育成計画の作成とともに、マニュアルの活用などの検討を期待したい。

保育所の中・長期計画は、所長会で各保育所で立案するための基本を作成したので、各保育所で作成をする予定になっている。今後、単年度の事業計画として、運営上の方針や職員体制、保育に関すること、子どもの健康や安全に関すること、地域に向けた子育て事業の取り組みのこと、保護者に向けた情報発信の内容や方法など様々な視点での作成をし、年度末には実施状況の報告をすることを期待したい。職員育成では研修の受講を通しての保育の質の向上とともに、主幹や主査を含め職員の役割の明記やリーダーの育成を視点に入れた個人育成計画の作成が必要と思われる。また、業務の標準化を図るために、保育マニュアルの読み合わせをしているので、今後行政で作成しているマニュアルの種類や保育をする上で周知が必要なマニュアルの配付や読み合わせなどの検討を期待したい。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

第三者評価を受け、職員一人一人においても自分の保育や保育所の良い点、改善点を見直すことができ、桜井保育所の職員としてさらに意識が高まりました。給食調理員を含めた職員同士の連携や食育など、保育所で力を入れ取り組んでいることについて高い評価をいただき、職員の意欲に繋がりました。利用者アンケートからは保護者の目線を知ること、多くの気づきや課題を見つけだすことができ、職員間で改善に向けて前向きな話し合いができました。

改善点においては、評価者の方のアドバイスにより、小学校への見学やAED設置場所の掲示など、できることはすぐに実践に移しました。まだまだ、多くの改善点がありますが、できることから一つ一つ改善に向けて取り組み、より良い福祉サービスの提供に努めてまいりたいと思います。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり